

区民と練馬区基本構想審議会との意見交換会
概要（確定版）

日時：平成20年12月9日（火）午後6時30分～8時20分

会場：練馬区役所 アトリウム棟地下 多目的会議室

出席委員（五十音順）

大屋幸恵、高橋徳行、林真未、村松昭、山口不二夫

参加者 26名

1. 開会

－副会長からあいさつ

2. 審議会委員紹介

－事務局から出席委員を紹介

3. 新基本構想の検討経過

－事務局から新基本構想の策定、審議会の位置づけ等について説明

4. 「中間のまとめ」の概要説明

－委員から説明

5. 「中間のまとめ」について寄せられた意見の紹介

－事務局から、12月8日までに10名の方から、11月29日の区政モニター懇談会にて20名の方から「中間のまとめ」に対するご意見をいただいたことを報告した。

6. 意見交換（※参加者の発言は、区の責任で要旨をまとめたものです）

○参加者

- ・「中間のまとめ」の内容に関して、資料の7番で事前に意見を出している。
- ・石神井公園を愛し、毎日通っている。石神井の日銀グラウンドの跡地を会場として、野外音楽祭を開催したい。野外音楽祭は仮設のステージがあれば良く設備投資は不要である。芝生の上で寝転びながら、一流の音楽を聞いてもらいたい。各方面に働きかけた結果、音楽大学の総長も務めた大物音楽家に承諾を得られそうで、区内大学も応援してくれるだろうと考えている。
- ・夏、野外音楽祭を開催すれば、練馬の産業も大きくなる。音楽は子どもから社会人まで楽しむことができる。区役所のアトリウムで開催されているミニコンサートの参加者数も非常に多く、練馬区の文化への需要は非常に成熟しており、アニメ、農業とあわせて音楽など文化産業の間口を広げて、将来練馬区を支える産業として計画してはどうか。

○参加者

- ・基本構想を読んできたが、非常に難しい問題と感じた。本日の意見交換会は、区議会議員の出席者が少ないように感じる。是非、議員には基本構想を読んで、一緒に考えてもらいたい。
- ・今後の審議会の開催予定が掲載されているが、誰でも気軽に審議会に参加できるようにしてもらいたい。また、基本構想ニュースの写真では、傍聴者の数が少ないように見えた。大勢の人が審議会を傍聴できるようにしてほしい。
- ・みどりを守るだけでなく、みどりをもっと増やすという心構え・意気込みを、区長を先頭として示してほしい。練馬区が23区で最もみどりを増やすことを考えていると示してほしい。練馬区は石神井公園以外に魅力が少なく希望も夢もないまちに思える。

○事務局

- ・多くの方に審議会を傍聴していただけるよう事務局として取り組んでいるところである。

○委員

- ・今の事務局の説明に補足させていただく。当初、傍聴人数は10名程度ということであったが、会長以下、審議会委員全員の意向として、可能な限り申込者全員が傍聴できるようにした。しかし、申込の人数自体が毎回10名程度というのが実態である。

○委員

- ・文化に軸足を置いた産業振興を、現在の産業振興の枠の中でどう扱っていくのか、貴重なご意見をいただいたので、今後審議会でも検討させていただきたい。
- ・ただし、基本構想は、区の将来像、理念的な考えが中心となる。具体的な内容については長期計画などの行政計画の枠の中で具体化することになるので、行政からボールを投げさせていただくこととなる。
- ・みどりに関するご意見については、練馬区は、30年先に緑被率30%を目指す「みどり30推進計画」という計画を推進しており、5年ごとに計画を見直すこととなっている。みどりを守るだけでなくみどりを育むという観点から条例化にも取り組んでいく予定と聞いている。こうした取り組みが見えにくいという趣旨であれば、区民が理解できるようにもっと具体的な取り組みも含めて行政にお願いしていきたいと考えている。

○委員

- ・一人目の方から文化産業について大変貴重なご意見をいただいた。現在お示ししている大きな計画の中では項目しかないもので、具体的な内容についてはもう少し中期の行政計画の中で絞り込んでいくことになると思われる。
- ・文化産業を、産業振興の枠の中で取り組むのか、文化活動の枠の中で取り組むのかについては状況に応じて慎重に検討していくものと考えている。

○参加者

- ・「中間のまとめ」を拝見して、10年後の練馬区がどのような区になるのかははっきりと見

えてこない。現在は特色のないベッドタウン的なまちに見える。平成12年の都区制度改革の際には、世田谷区からは、自分たちの区だけで自己完結するような独立に関する意見も出ていたが、練馬区はそうした特色がない。

- ・現在の金融不況をみると、来年の区民税や財政調整も含めて見通しが難しい状況である。審議会を傍聴していると、環境を中心に答申を打ち出すという意見も出ていたが、「みどり30推進計画」のような答申を出してほしい。
- ・「中間のまとめ」の内容に関して、資料の10番で農業について事前に意見を出している。中国のインゲンや餃子や乳製品の問題で、食に対する不安が高まっている。練馬区は農業、農地があるので、生産者の顔が見えるものを食べられる地産地消の仕組みづくりに取り組んでほしい。例えば、道の駅や区営市場などをつくり、農業で食べていけ、農家を継ぐ人が出るよう考えてほしい。練馬区だけでなく東京都全体に出荷しても良いかもしれない。農地の相続問題でマンション化が進み人口が増加している。このような問題も含めて練馬で食べていける農業というものを考えてほしい。

○参加者

- ・社会的な状況が世界的に変化している中で、きちんとした位置付けを持った基本構想をつくるのが大事である。練馬区の場合、福祉と環境が大きな柱となると考えている。
- ・環境については地産地消の強化に取り組むべきである。みどり、産業の両方の角度から重なり合う問題である。石神井や大泉など側に農地がある地域では、直売所を設ける取り組みも見られるが、全区的には、区内の青果業者とどう連携していくのか、流通をどう確保していくのかも含めて、練馬の農業をどう後押ししていけるのか計画してほしい。
- ・環境については、近年、ゲリラ豪雨が増えている。区内の細街路を徹底的に浸透性にしてほしい。雨水浸透マスもあまり宣伝されていないので、全区に理解を広めるとともに、新たな雇用も生み出し、区内事業者の活性化にもつなげてほしい。
- ・練馬駅北口区有地の活用について、建物を建てるのではなく「みどり」にしてほしいという声が多い。「みどり30推進計画」のように30年後に30%などのん気なことを言っている時代ではないので、少なくとも北口広場については、どのような土地利用にするのか全区的に検討してほしい。
- ・福祉はなぜか金食い虫的な位置づけになってしまっているが、きちんとした専門家の仕事として位置づけてほしい。福祉の現場で働き、収入を得られる人が増えれば、経済も循環していく。何でもボランティアにする考え方は改めてほしい。例えば、マンション問題も、農家が相続税対策としてやむを得ずマンション開発していることが多いが、駅から遠く離れて人が入らず、結果として地主が困っているという話も聞く。そうしたマンションについては、デイサービス施設や老健施設、ケア付マンションにしてはどうか。こうした施設内容には区も支援してはどうか。
- ・現在のような社会情勢の中では、練馬区を福祉と環境のまちとして位置づけ、その中で施策を展開してほしい。

○参加者

- ・「中間のまとめ」の内容に関して、事前に5項目に渡る意見を出している。基本構想は

区政運営の基本指針・考え方ということだが、現状の細かな項目が積み上がって基本的な考え方になると思う。

- ・現基本構想には公害が触れられているが、今回の構想にはあまり触れられていない。練馬区は子どもの喘息がワースト2位であり、自分自身の目も20年近く白内障かかっている。こうした細かな事象を積み上げていかないと、「中間のまとめ」は砂上の楼閣にも見える。今後、公害問題もきちんと位置づけてほしい。
- ・生涯学習は、定年退職した人を対象とした講座が中心となっている。しかし、生まれてから死ぬまで学び続けることができる、例えば、もう一度大学に入り直すなど夢のある考え方も必要であると思う。

○参加者

- ・基本となる考え方「安心していきいき暮らせる地域コミュニティ」に関して、戦後から今日に至るまで物質的に豊かになり、物質文明から精神文明へ移行した。心の豊かさは心の問題であり、心がいきいきしなければ地域もいきいきしない。練馬区には、民生委員、町会、商店街、青少年育成団体などなどさまざまな団体がそれぞれの分野で活動しているが、お互いに横の連携が取られていない。隣近所では挨拶もせず、血が繋がった有機的な関係がつけられていない。子どもの健やかな成長とあるが、大人同士が仲良く付き合うために、心の問題をどう考えるかご意見を伺いたい。

○副会長

- ・最後のご意見については、専門の社会学の視点からお話しさせていただきたい。物質的な豊かさから精神の豊かさへの転換の必要性は、1980年代、30年前から唱えられてきたが、放置されたままだった。このため、日本の市民性において、大人が大人として育てていない問題が大きいのしかかっている。本来は市民社会が形成されるはずだったのに、ただ個人の豊かさが追求されすぎて、社会の豊かさが何なのかという問題が我々に突きつけられている。
- ・オランダでは、不況で仕事が減るとワークシェアリングを行い、例えば二人の仕事を三人で分割して一人当たりの賃金は減っても、それぞれの時間に余裕をつくり、社会的な問題への取り組みに注げる時間を作り出している。しかし、日本では、他人に仕事を任せる考え方が浸透しなかった。物の考え方やお金の使い方も含めて、今考え方を変えていかないと、子どもの世代まで影響を及ぼすことになる。

○委員

- ・ほとんどの意見に賛成である。最初に、練馬区はベッドタウンという意見があったがその通りであり、本来、まちはバランスの取れた発展が求められる。
- ・「中間のまとめ」については環境やみどりの重視は良いが、産業の育成が弱い。また、芸術文化の育成、心の問題も少し不足しているので、今後取り入れていきたいと思う。
- ・練馬区でできる産業はサービス産業が中心となるだろう。また、既存のアニメ産業や芸術学部を備えた大学もあるので、芸術的センスを備えた大学生が、新しい芸術文化を創造できるようにしていくべきであろう。

- ・ゲリラ豪雨は大きな問題である。ここ数年のゲリラ豪雨により、練馬区の治水や防災対策が大きく変わっている。雨水を下水に流すのではなく、浸透性を増し、湧水を増やしていく必要がある。また、自然河川を復活させ、蛍の棲める川を目指す必要がある。
- ・生涯学習については、日本が世界で生き残っていくためには、学校教育だけでなく、仕事に就いてからも常に学んでいく、一生学んでいくことが必要である。同時に、働いたことを誰かに伝え、そこで学ぶことが、最高の福祉につながると思う。生涯、安全に生活でき、学び働くことができる新しい生涯学習の仕組みを練馬でつくることができるとうい。

○委員

- ・全体の意見を聞いて、審議会の意見と方向性は一致していると感じた。特に、地域コミュニティに関しては、横のつながり、隣近所づきあいの不足を問題として、新しい 21 世紀型の練馬区地域をつくりあげていくという発想である。
- ・公害に関する記述が少なかったことについては、私も今後取り入れてほしいと感じた。光化学スモッグの警報は心が塞いでしまう。警報がなくなるようにするためには、地域コミュニティの力だけでなく行政の強制力も必要である。

○委員

- ・世田谷区は自己完結型の地域、農業を自立的にという意見があった。また、委員から基本構想の弱い部分として産業の育成という意見があった。これらの意見に基本的に同感である。
- ・農業に関していえば、地産地消に対する区民の需要はあると思うが、供給側がそれに対して対応できていない。コンピューターの仕組みを取り入れて成功した地域として、愛媛県内子町などがあるが、軌道に乗るまでに時間がかかるし、投資額も大きい。地方の場合、その他の手段がないため農家が追い込まれて実現している側面もある。農家を本気にさせる仕組みができれば、練馬区でも地産地消の仕組みが実現できると思う。
- ・産業づくりは工場誘致の時代ではない。このため、各地で起業を促進させるための取り組みが行われている。起業を生み出すこと自体は難しいことではないが、続けさせることが一番難しい。起業した会社の 2 割が市場に残っていない。安易に起業させるだけでなく、周辺がきちんと生み育てていくような仕組みもつくり、中途半端な施策にならないようにしなければならない。

○委員

- ・いただいたご意見に基づき、基本構想の文言修正について検討していく。また、具体的な内容については基本構想と並行して検討する長期計画への取り込みを検討していくこととなる。
- ・将来像が見えないという意見があったが、重点軸と分野別の施策の関係は、コミュニティをベースとした取り組みがさらにコミュニティを強化していくというスパイラルの絵柄でしかなく、練馬区を目指す将来像が見えないという趣旨だと考えている。今の段階では、現基本構想や現長期計画のような目標となるキャッチフレーズを掲げていない。

しかし、この中間報告でいただいた意見のように、地域コミュニティを中心に据えて、みどりを増やすなど、従来の縦組みの行政を横串にして、将来像のようなものを示していけば良いと個人的には考えている。まだ、審議会としては議論していないが、中間のまとめに対する意見を受けて、次のステップで検討していきたい。

○委員

- ・審議会では、ビジョンについて人が幸せになるまちになれば良いと発言した。ただ、行政の究極の目標であるため、キャッチフレーズにはなりにくいですが、これが究極的な練馬区の姿と考えている。

○参加者

- ・子どもと教育の分野について、分野別施策の例示に、「特色ある学校教育」とある。また、「中間のまとめ」の内容に関して14番に学校教育に関する意見が出ている。学校選択制、小中学校の統廃合、小中一貫校教育、夏休みの短縮、教育委員会の問題など、学習内容ではなく教育環境が変わる時に、区側の意見はあると思うが、区民にも地域と学校に関する考えがある。こうした考えが尊重されないで変化している現状がある。教育環境が変化するときは、地域住民、教師、子ども、保護者の話をきちんと聞いて、納得できる形で教育環境を変えていく必要がある。どのような形で基本構想に盛り込んでいくのかは分からないが大切な要素だと思う。
- ・練馬駅北口には大きな区有地がある。練馬文化センターの隣にはつつじ公園がある。その隣となる区有地には、建物を建てるのではなく、木を植えるなどみどりを増やす取り組みに力を入れていくべきでないか。

○参加者

- ・本日のような中間報告会は、他の審議会ではほとんど設置されない。このような場を用意した会長以下、委員の英断に感謝したい。通常であれば、答えが固まってから説明するケースが多いが、こうした中間報告の場を持つことは画期的だと思う。
- ・「中間のまとめ」の9ページ「基本構想を実現するために」の(2)に、(仮称)自治基本条例の制定とある。1年以上、自治基本条例の懇談会の起草委員をして区長に提言を提出したが、まだ制定に至っていない経緯がある。
- ・基本構想審議会でも検討した内容はすべて(仮称)自治基本条例の懇談会でも真剣に議論した。夕方5時から翌朝5時まで12時間ぶっ続けで議論したこともある。このため、「区民参加の仕組みづくり」として「自治基本条例の制定」が位置付けられて本当に良かった。この位置付けがなければ、議論しても何ら意味がなかった。
- ・地方分権は進んでいるが、練馬区は地方自治法に位置付けられた完全なる自治体ではない。どのように理想を実現しようとしても、法律的な制約や東京都との関係などさまざまな制約がある。こうしたことを承知の上で、委員の方々があらずじをまとめたことに敬意を表したい。
- ・光が丘の8つの小学校が4つに統廃合される。跡地の利用をどうするか、箱物は十分にある。その中身をどうするか、基本構想、長期計画との整合性だけ考えれば、練馬区の

未来は明るい。練馬区の将来は暗いという話があったが、70万区民には70万の考え方がある。こうした時代だからこそ明るく上を向いて歩くことが大事である。アメリカ発の世界不況は逆に日本が浮上する絶好のチャンスである。恐らく2016年のオリンピックもある。現在のアメリカはものづくりを忘れ、金融で完全につまずいた。日本は幸いにしてバブル経済の崩壊が早く、それだけに立ち直るチャンスがある。

- ・練馬の農業について、地産地消はどこでも言われるが、都市型農業の難しさは、土地の価格が高いこと、そして土地対策として生産緑地制度を押し付けられていることに要因がある。こうしたことが農地を所有している農家を苦しめており、これらに対する行政支援は必要だと考えている。練馬区を含む複数の特別区・市が、合同で都市農地保全の協議会を立ち上げており、国に働きかけていくことになると思う。

○参加者

- ・区の基本構想・各種規約は難解で読みにくいと思う。特に基本構想のような文書は、誰が読んでも分かりやすいものにしてほしい。

○参加者

- ・冒頭の野外コンサートの提案に関して、さまざまな意見をいただき感謝している。
- ・基本構想は理念的なものという話があったが、理念的なものだけでは分かりにくいと思い、具体的な話を申し上げた次第である。
- ・産業が弱いという話があったが、産業はものづくり、サービス産業だけでない。練馬の農業を産業として振興しても日本の自給率が1%上昇することはない。農業も文化として考えたほうが良い。委員に本当に言いたかったのは、産業論が弱いということ。福祉産業、環境産業もある。産業的な考え方が必要である。
- ・文化と産業を分けて考えるという話があったがどうしてか。音楽産業一つ取っても裾野は広く経済規模は大きい。

○参加者

- ・最近、近隣の横のつながりが薄くなり、あいさつがなくなったことが悲しい。町会・自治会の参加率も低くなっていると聞いており大変悲しい。
- ・学校教育後も、一生働きながら学ぶという心構えが見られず残念である。働き盛りの若者がパチンコ店に行列を作っている姿を見ると大変悲しくなる。
- ・区議会議員が放置自転車の対策など区長に積極的に取り組むべき施策を示してほしい。

○委員

- ・文化活動がすべて産業になるわけではない。産業になる文化活動もあるが、文化活動を産業レベルまで引き上げる方向でいくのか、雇用を大量に発生する形でない文化活動を進めていくのか、明確にすることが政策を考える際には大事だと申し上げた。

○委員

- ・区民懇談会でも身近な問題から積み上げて最終的な理念にするという話になっている。

- ・練馬駅北口区有地の活用については、本日いただいたご意見のようにみどりをつくるべきという意見も数多く聞いている。一方で、区有地として区が抱えている課題を解決するために有効活用できないのか、駅前一等地であるので、処分したお金でもっと大きな公園をつくったほうが良いのではないかという考えもある。まだ、結論が出たわけではないが、さまざまな意見を聞いて検討しているところであり、そうしたプロセスがあったことをお伝えしておきたい。
- ・現在の地方分権の枠組みの中での区政をご理解いただいた上でのご意見もいただいた。今後も引き続きご指導・支援をいただくという姿勢で取り組みたい。

○委員

- ・個別の問題として、学校選択制には反対だが、保護者の意見を聞いて慎重にとという意見にも疑問を持っている。なぜなら、保護者は、深く考えずに学校選択制を選ぶ可能性が高いと考えるからである。地域コミュニティについては地域にある学校を基本にしたほうが展開しやすい。中学校の場合、部活がないので他の中学校を選択する傾向がある。このため、部活の選択に柔軟性を持たせるなどの解決策もあると思う。
- ・全体に関しては、小さなもの、具体的なものを積み上げていく発想で考えている。従来の行政では、本日いただいたような具体的な意見が、壁にボールを当てた時のように即座に打ち返されるイメージがあったと思う。しかし、基本構想があることによって、市民の良いアイデアが、法律的な問題、行政的な問題の網目をすり抜けて実現できるようなものを作りたいと考えているので、ご理解いただきたい。

○委員

- ・5点ある。1点目は、「中間のまとめ」が難し過ぎるという意見に対して、なるほどと思った。本物はシンプルで易しい言葉で語られているはずである。小学生にも分かるものになっているようにしたい。
- ・2点目は、学校選択制については楽観的である。子どもを育むのは地域だということが皆分かっている。学校選択制の中でも結局は地域の学校を選択していただろうと考えている。
- ・3点目は、農業を保護していくためには、練馬版のナショナルトラストが必要ではないか。イギリスで始まったナショナルトラストは民間主体で実施されている。日本国内でも40数箇所のナショナルトラストがあるが、実に多様である。英国は保有も維持も民・民であるが、日本は、保有は官・維持は民など多様である。ただし、40数箇所でなかなか広がらない。練馬版の新しい農地保全の仕組みを考える必要がある。でなければ、相続のたびに農地は減少していくばかりである。
- ・4点目は、明るいほうに未来があるということだが、練馬区は地域活性化の観点から見れば、最高のポジションにある。いまどき、人が集まっており、また、地価が高いこともあって郊外型ショッピングセンターも進出してこず、商店街が残っている。公共交通網もある程度整備されている。ただし、決定的に欠けていることは、都内でも治安が悪い方であることである。この要因として、高齢者と若年層が離れていること、逃走経路が確保されていることが挙げられる。これらを防ぐのは地域コミュニティの形成である

う。地域コミュニティの形成ができれば、練馬区はかなり良くなるとみている。

- ・練馬は音楽大学もあり、野外音楽祭も是非取り組んでいただきたい。今後の日本経済の牽引役は芸術と文化と遊びだと思う。携帯電話の機能はほとんど遊びであり、i-pod もデザインの力が大きい。自動車産業もかつては営業と技術の占める力が大きかったが、今はデザインの力が大きい。このように我々が気付かないところにデザインの力が入り込んでおり、こうしたデザインが育ちやすい環境を持つ練馬区であってほしい。

○副会長

- ・本日出席させていただいた委員は6名であるが、活発な審議会の様子を感じ取ってもらえればありがたいと思う。
- ・10年後の将来を語るには、人・物・金がどうなっているのかを予測する必要があり難しい。限られた資源を有効利用して、幸せを感じられる社会を考えていく必要があり、審議会委員だけでは限界がある部分もあり、ぜひ皆様のご意見をさらに頂戴できればと思う。
- ・今回の基本構想は、今までとは違う方法を採用しており、資料だけで理解は難しいと思う。従来の縦割りの行政だけでなく、織物の縦糸と横糸の関係のように、横のラインを織り込んでいるところである。農業、福祉、環境などテーマだけでなく、まだまだ見落とししている点があるので、本日のご意見は大変有難かった。
- ・例えば、子どもとみどりを考えると、小学校の校庭の芝生化というアイデアでさまざまな効果が期待できる。芝生にすれば、緑地化も進むし、実施できるスポーツの幅も広がる。また、野外音楽や青空の下での絵本の読み聞かせもできる。高齢者も外で活動ができ、福祉の面でもさまざまな展開が見込める。
- ・個人的には、基本構想の実現方法についてあまり突っ込みがなく、また、男女共同参画のご指摘もなかったのが、本当に良いのかやや不安もある。今後もどんだんご意見をいただきたい。最終的には難しい言葉、分かりにくい言葉を省き、小学生も分かる、絵に描いて分かる構想もつくりたいと思っている。

7. 閉会

(以上)